


平成21年度企画展

江戸に学ぶ

からだだと養生

開催期間

2009年5月14日(木)～2010年3月28日(日)

 内藤記念くすり博物館・内藤記念科学振興財団

〒501-6195 岐阜県各務原市川島竹早町1 TEL.0586-89-2101 / FAX.0586-89-2197

開館時間 9:00～16:30 休館日 月曜・年末年始 入場無料

ウェブサイト「くすりの博物館」<http://www.eisai.co.jp/museum/>



江戸に学ぶ

からだと養生

開催期間 / 2009年5月14日(木)～2010年3月28日(日)

■開館時間 / 9:00-16:30 ■休館日 / 月曜日・年末年始 ■入場料 / 無料



皁月しょうぶ湯



飲食養生鑑



腑分 (前田青邨画 山種美術館所蔵) パネル展示



解体新書



華岡塾瘍着色図

18世紀～19世紀は諸外国で人間の身体の仕組みを科学的に解明する努力が続けられ、病気の究明などの医学や薬学が飛躍的に発展しました。それに伴い日本においても蘭学によってもたらされた知識や情報によって、身体や健康への考え方が大きく変わりました。翻訳した医学書が出回ると、それまで伝統的に信じられてきた五臓六腑説とは異なる身体の仕組みに医学を志す人々は驚きました。その影響は当時の浮世絵などにも現れ、庶民の間にも徐々に広まってきました。

このような時代に発達した“養生”の思想は、日常生活に留意して健康の増進を図ることであり、今日の予防医学に通じるものがあります。『養生訓』が広く一般の人々に愛読され、ベストセラーとなりました。当時の時代背景を考えると、どのような思いでこの本を読んだのか興味深いものがあります。江戸時代の蘭学関係、養生書などの資料から、人々が身体や健康についてどのように考えていたのか、また身体をいたわり長生きするためにはどのようなことを行っていたのか、今の時代にも通じる当時の健康管理について理解を深めていただけたら幸いです。



内藤記念くすり博物館

〒501-6195 岐阜県各務原市川島竹早町1
TEL(0586) 89-2101 / FAX(0586) 89-2197
<http://www.eisai.co.jp/museum/>

【交通のご案内】

- 岐阜より
 - 岐阜バス「川島松倉」行「川島中学校前」下車(40分)、徒歩1.5km
 - 車で15km(40分)
- 新幹線岐阜羽島駅より
 - 車で18km(50分)

- 名古屋より
 - JR東海道線「尾張一宮」で下車(20分) バスカタクシー乗り換え
 - 名鉄名古屋本線「名鉄一宮」で下車(20分) バスカタクシー乗り換え
- 一宮より
 - 車で一宮 I.C.より12km(35分)
 - 名鉄バス「川島」行きで「川島口」下車(25分) 徒歩1.5km